

# ひよこだより

和歌山ろう学校 幼児教室(ひよこ組) 令和8年1月号 No.9

一年で一番寒い時期を迎えましたが、こども達は「寒い」と言いながらも活発に遊び、お部屋の中は熱気でぽかぽかです。新しい年を迎え、久しぶりに会うこども達は、ずり這いや歩行が安定し、探索活動が活発になったり、自分でやりたいと意欲的に遊んだり、ことばや手話を自然に真似できるようになったりと、それぞれが一段とたくましくなったことを実感する毎日です。

空気の乾燥が気になり、感染症が流行しやすい季節となりますので、学校でも換気や加湿、手洗いなど、こども達が毎日元気で過ごせるよう配慮をしています。

1月14日(水) 2歳児さんを中心に、幼稚部と一緒に

**もちつき** 『もちつき』体験をしました。お部屋ではお餅を「ぺったん、ぺったん」つく真似や、粘土で「ころころ」丸める練習をし、いざ本番へ!

炊き上がったもち米の香りや温かさを感じ、少しずつお餅になっていく様子を見ながら、お家の人と一緒に「ぺったん、ぺったん」餅をつきました。初めはためらっていたこどもも餅つきが楽しくなり、重い杵を持ち上げようと意欲的に取り組んでいました。つきあがったお餅は餅取り器で「くるくる」回して丸めたり、感触を確かめながら手で「ころころ」丸めたりし、お家に持って帰りました。

ひよこ組のこども達からは、家庭の機械で作ったお餅を触って遊んだ、お餅のような団子を作って食べたという話も聞かれ、近年薄れつつある餅つきですが、良い経験に繋がる伝統行事ですね。



**ひよこ組交流会** 1月19日(月) 幼児教室に通うママたちの交流会を開催しました。『聴かせるということは、見せるということ』の視点を大切に、コミュニケーション場面【①毎日繰り返させる場面、②「今ここで」の場面】での様々な手立てを考え合いました。また、普段の悩みなどを交流する中で、経験者の話が聞けたり悩みを共感し一緒に考えたりすることができ、話が尽きない様子が伺えました。保護者さん同士の繋がり大きな支えとなりますので、これからも関係を深めて欲しいと思います。



ママたちが交流をしている間、こども達も先生やお友達と仲良く過ごしました。



**まめまき** 2月2日幼児教室で『まめまき』の集団活動を行います。豆をまく時には「おにはそと、ふくはうち」のかけ声を聴き、一緒に声を出すことを楽しんで欲しいと思います。鬼は馴染みのある先生

ですが、怖がるこどももいるかと思っています。「一緒に遊ぶ楽しさ・安心感」を味わえるように、気持ちを受け止め一緒に遊んであげてください。

『まめまき』に限らず、集団活動では「活動ができた」「できなかった」ではなく、「今日はこっちに興味があるんだね」「今日は鬼が出てきてドキドキしているのかな」など、今日のこどもの様子を言葉にして接してあげることが大切になります。『まめまき』が分からなくても、町や家で見えた鬼や豆などが学校にもある、怖い・怖くない、初めてでもママとパパと一緒にならできるかも!など感じている気持ちを、そのまま友だちやお家の人と共有しながら遊んで欲しいと思います。また、交流会でもお話したように、こども同士のトラブル(おもちゃの取り合いなど)が起こることをチャンスと捉え、我が子の気持ちをことばにしてあげてくださいね。

